

・平成 26・27 年度モニタリング調査計画

下記のページに掲載した地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(坂本、中津道)を背景図として使用したものである。
【掲載ページ】90,91

●平成 26・27 年度モニタリング調査計画

1. 全体計画

(1) 全体スケジュール

○又は-:調査 ●又は…:必要に応じて調査 ※:植物相の調査の中で確認された種

調査実施済みの項目は赤字で示

① 洛橋櫻、丁代漸、道の駅板木、薺漸がん、西淀川区立久留美、西淀漸(鍛冶)、薺(漸)、宇治漸

①: 遙拝堰、下代瀬、道の駅坂本、荒瀬ダム百濟木川流入部、西鎌瀬(鎌瀬、藤ノ瀬、宮瀬付近)、坂本橋、横石

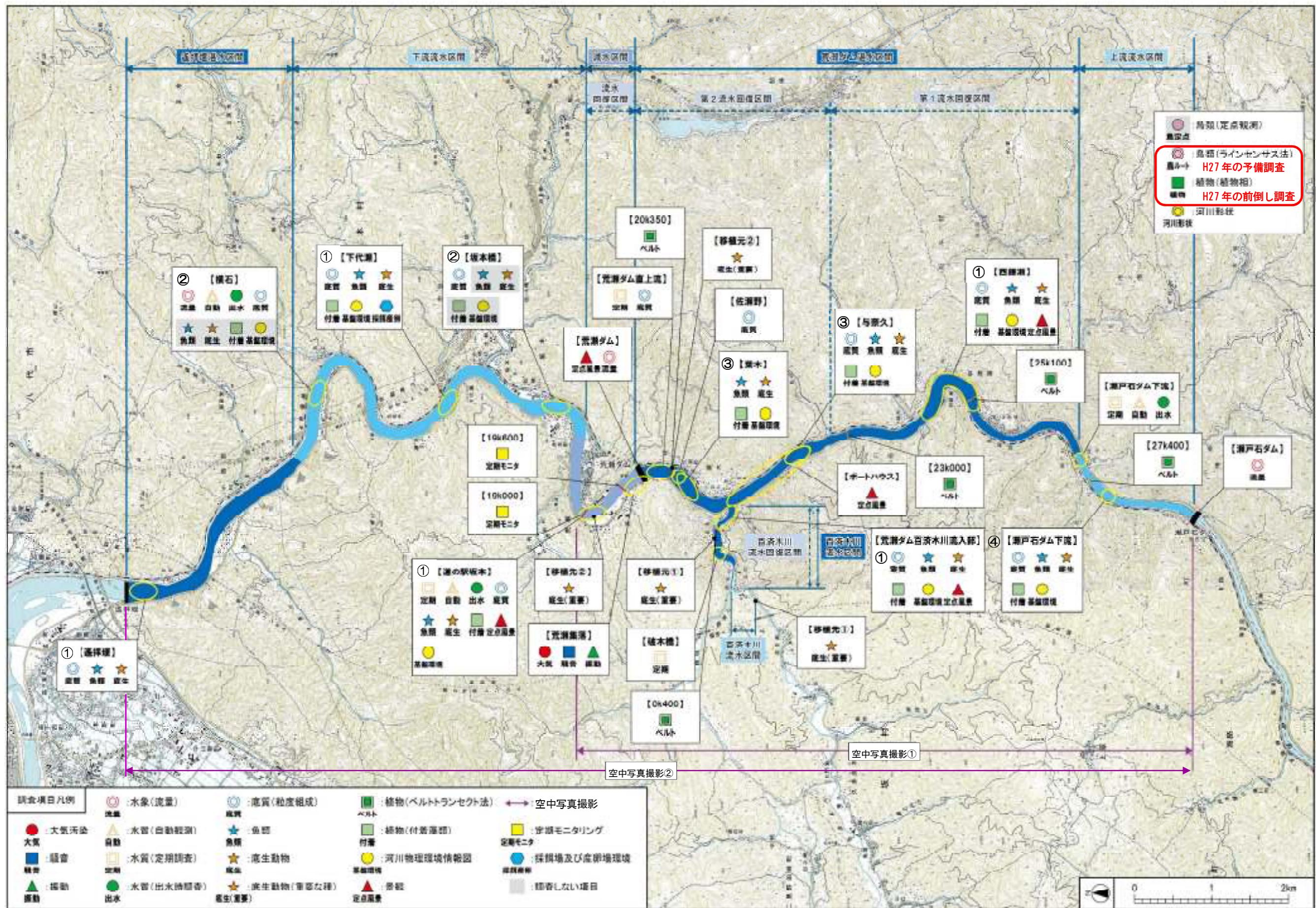
② 坂本橋、横石
③ 与奈久(湯の瀬付近)、葉木(小股の瀬)

③: 比奈久(湯の瀬付近)
④: 瀬戸石ダム下流

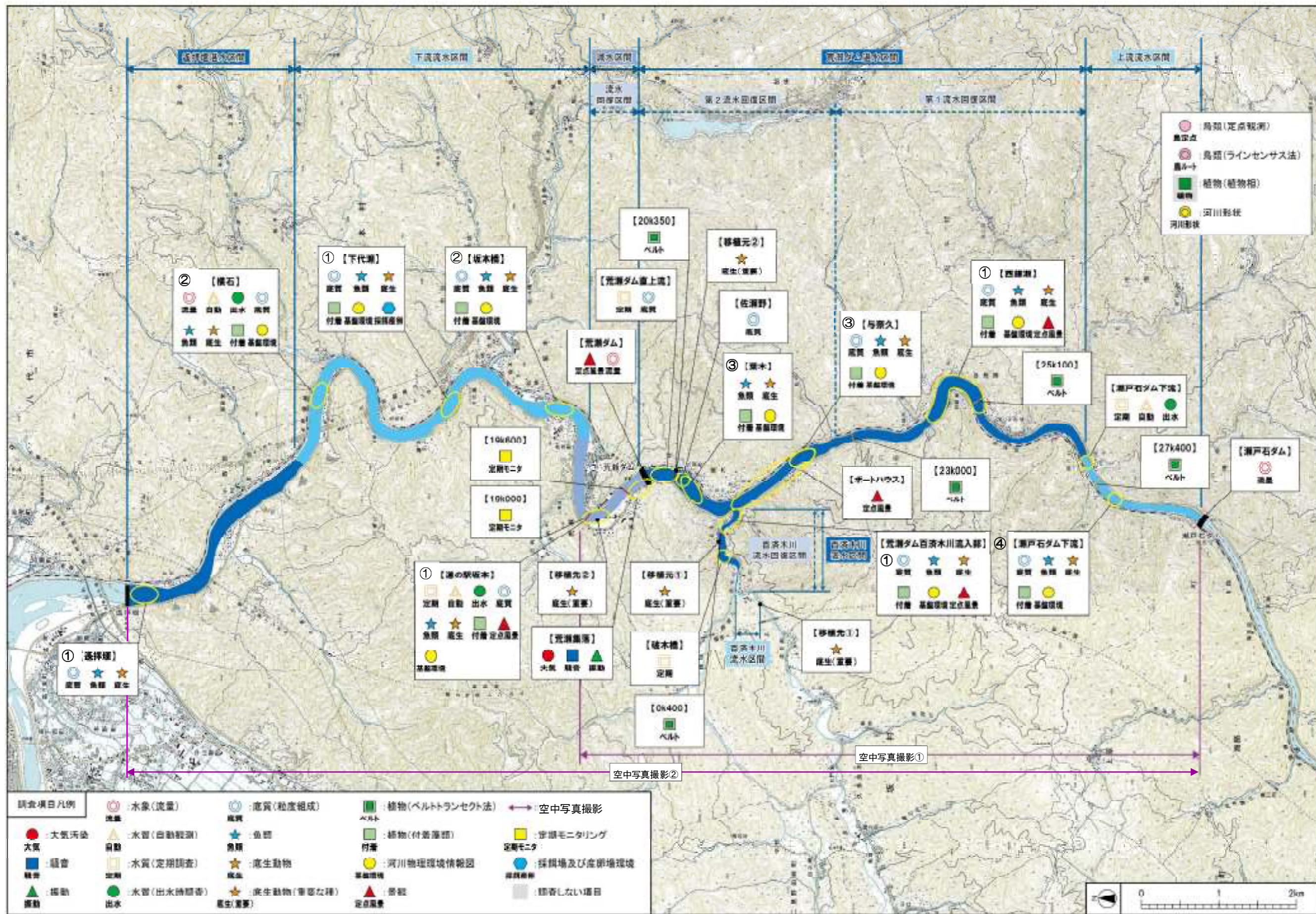
• 100

(2) 全体平面図

1) 【平成 26 年度】(測量以外)

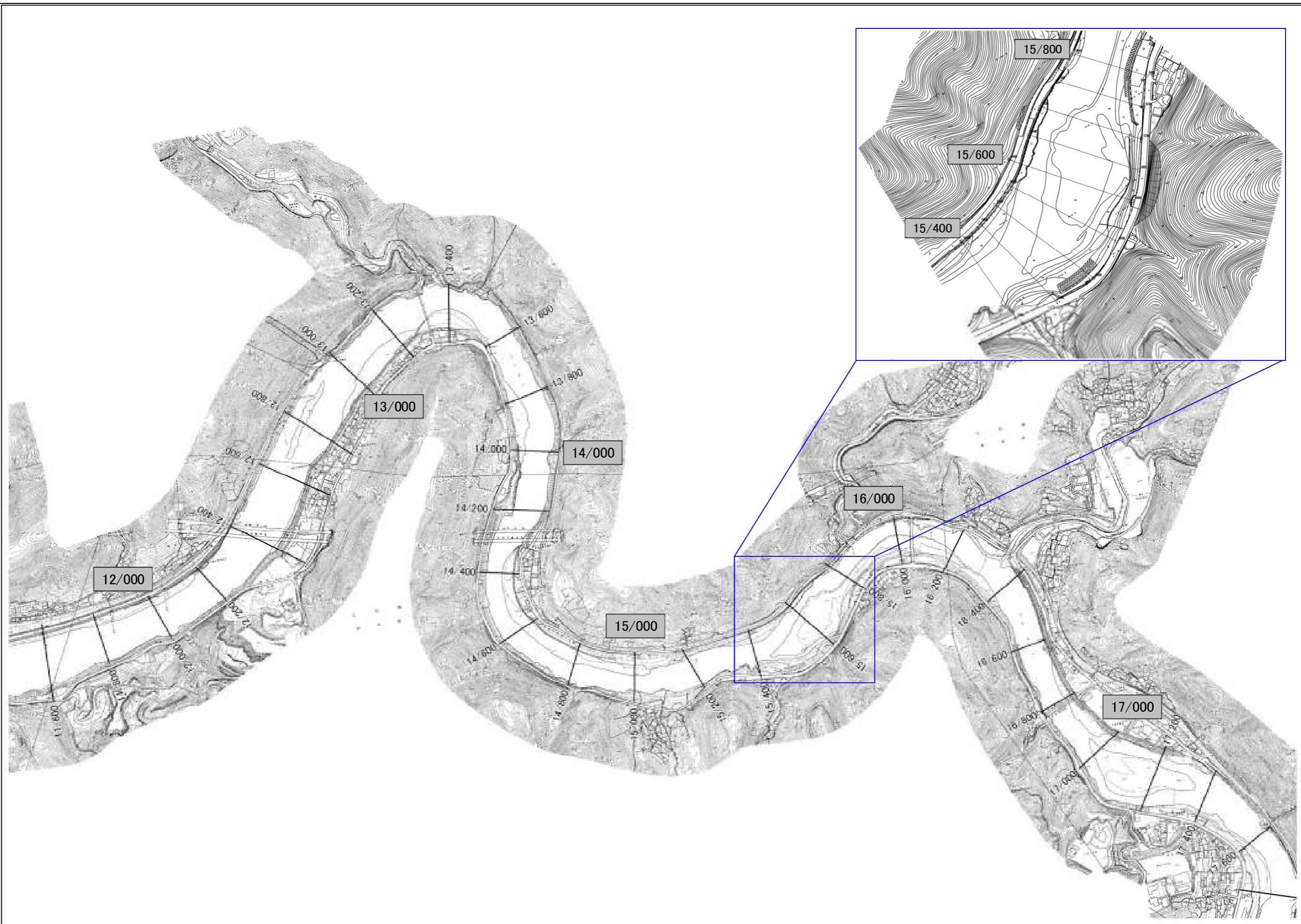


2) 【平成 27 年度】(測量以外)

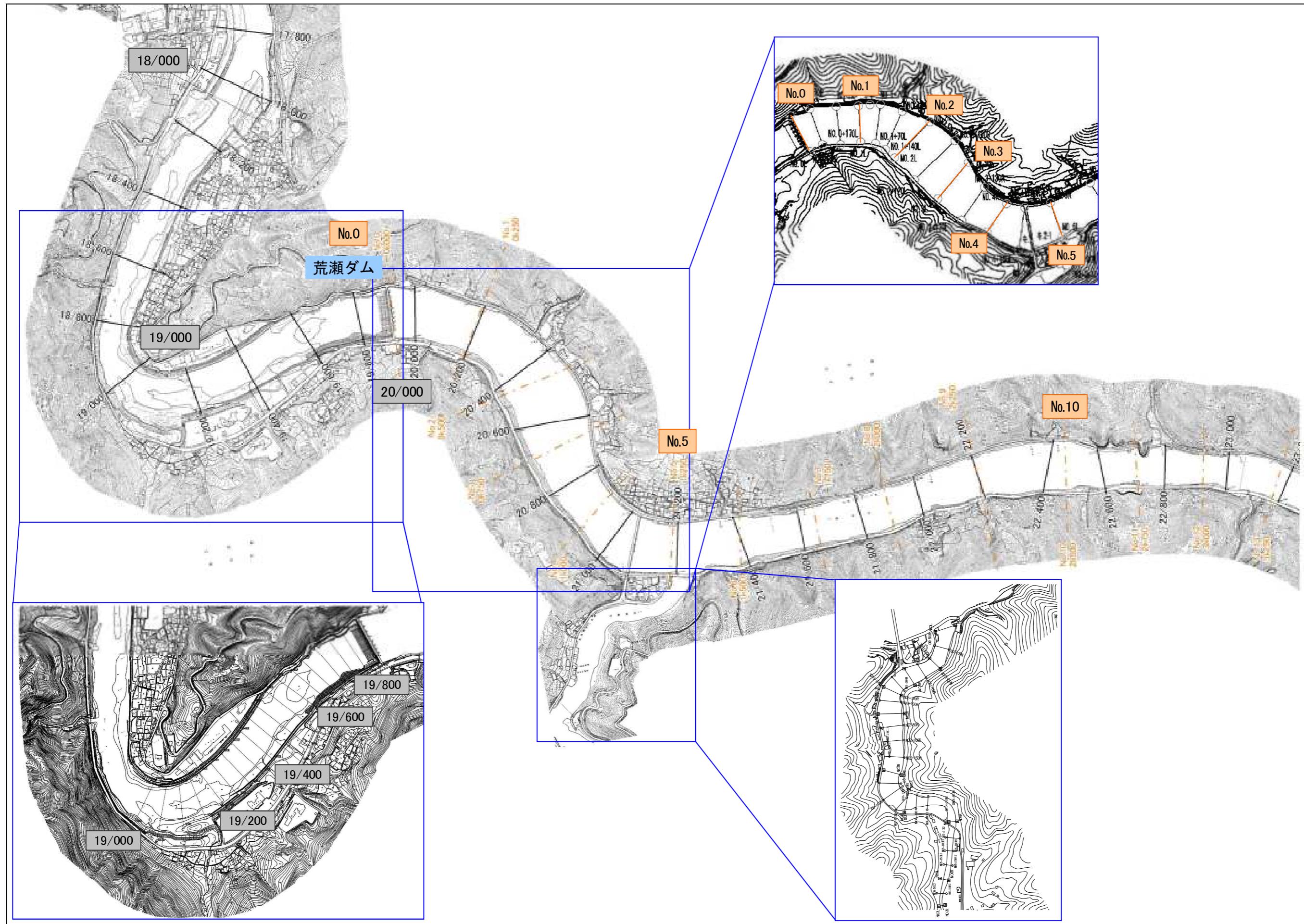


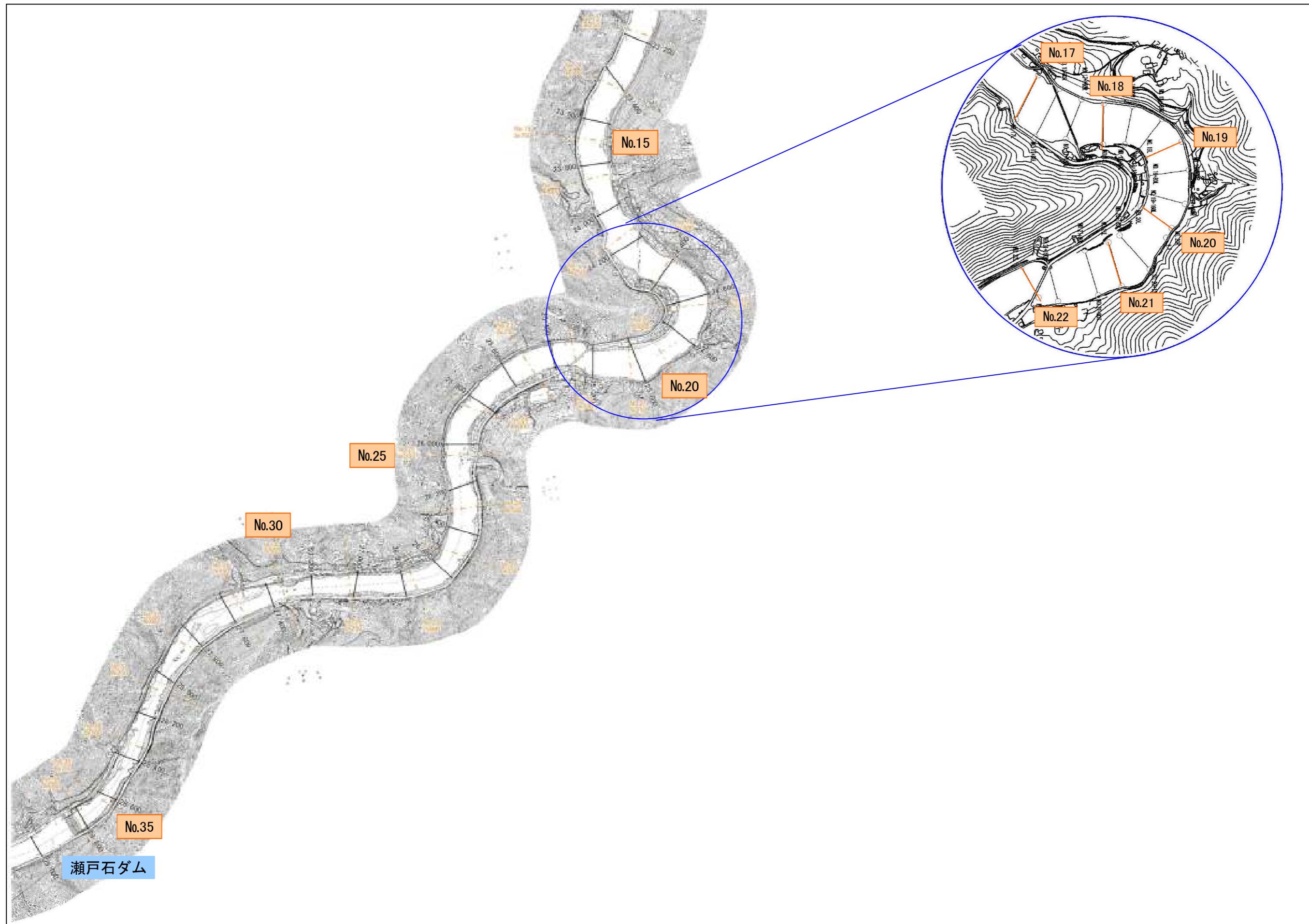
3) 【平成 26・27 年度】(測量)





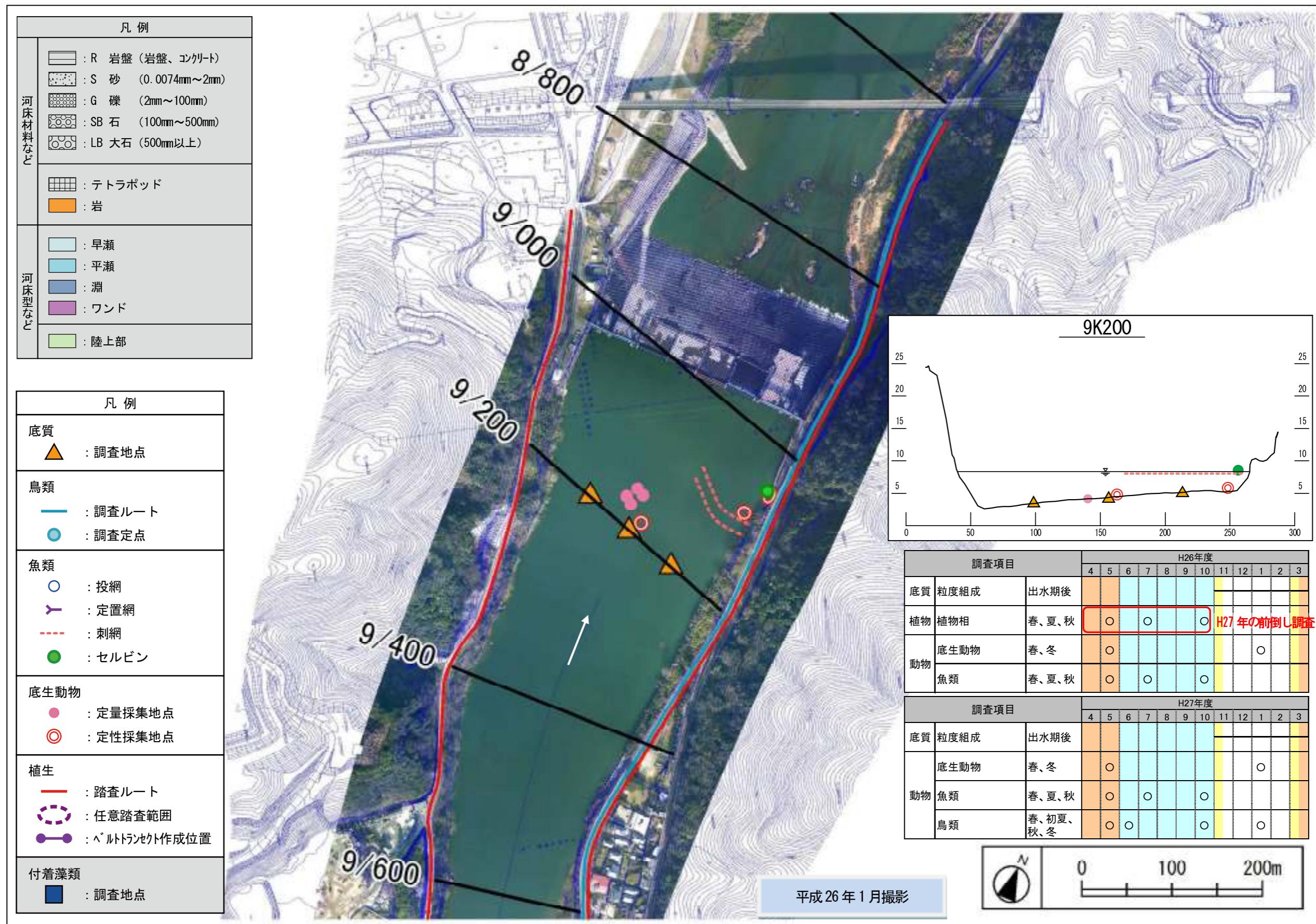
熊本県	国交省
No.0	19k910
No.0+70	19k980
No.0+170	20k080
No.1	20k160



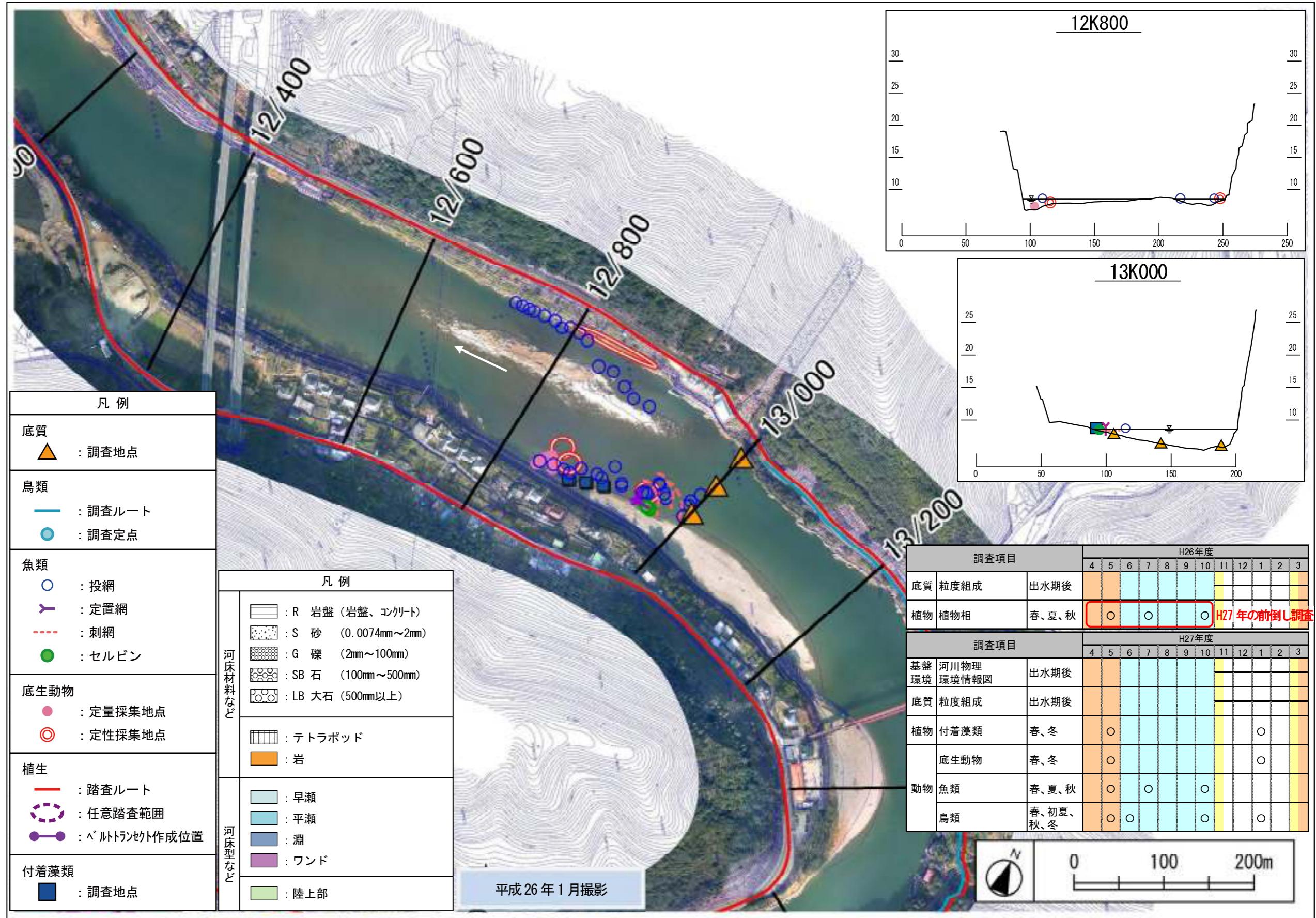


2. 各地点の調査計画：平成 26 年度及び平成 27 年度における底質、動物、植物及び基盤環境（河川物理環境情報図）の調査地点

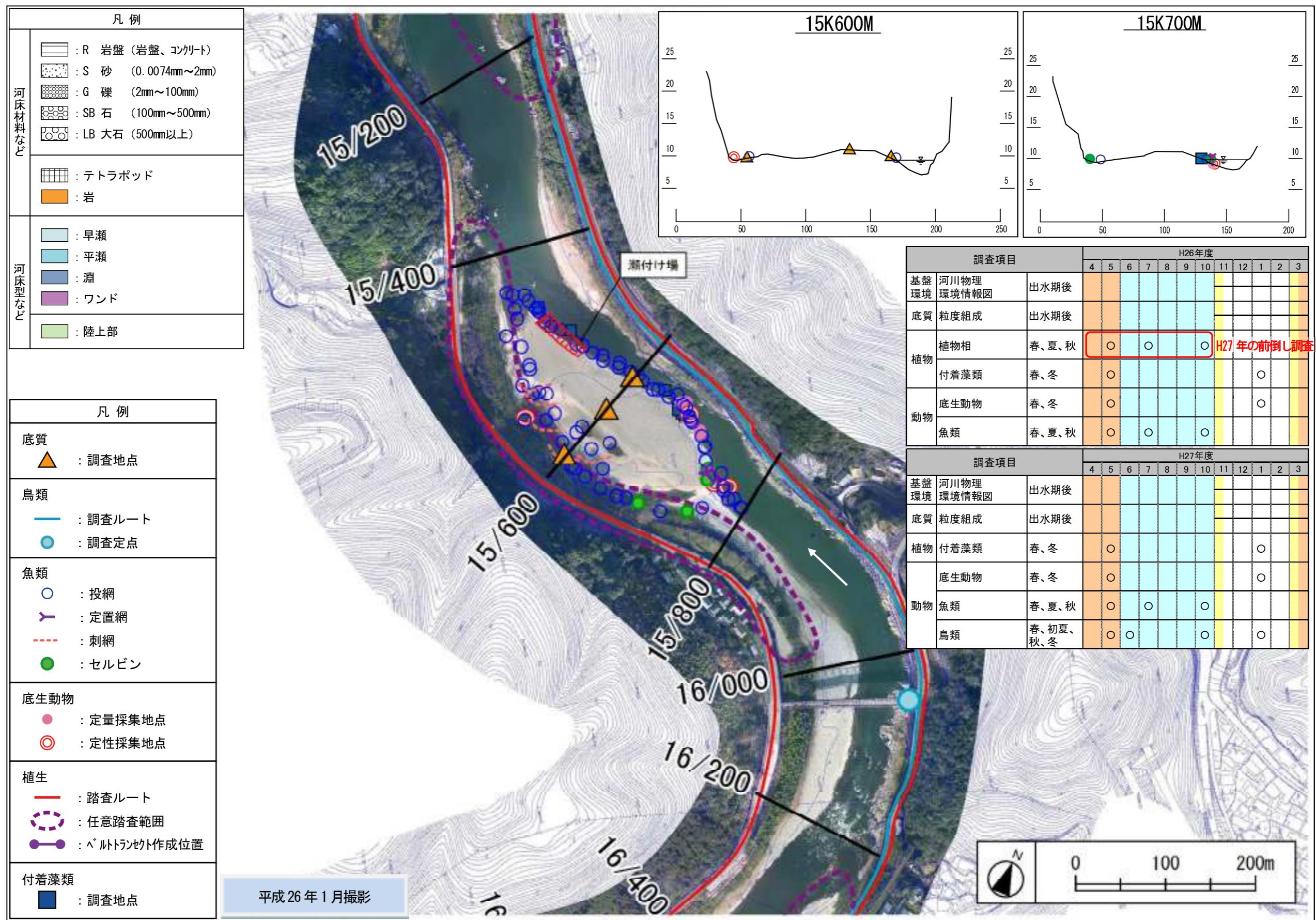
(1) 遙拝堰



(2) 横石



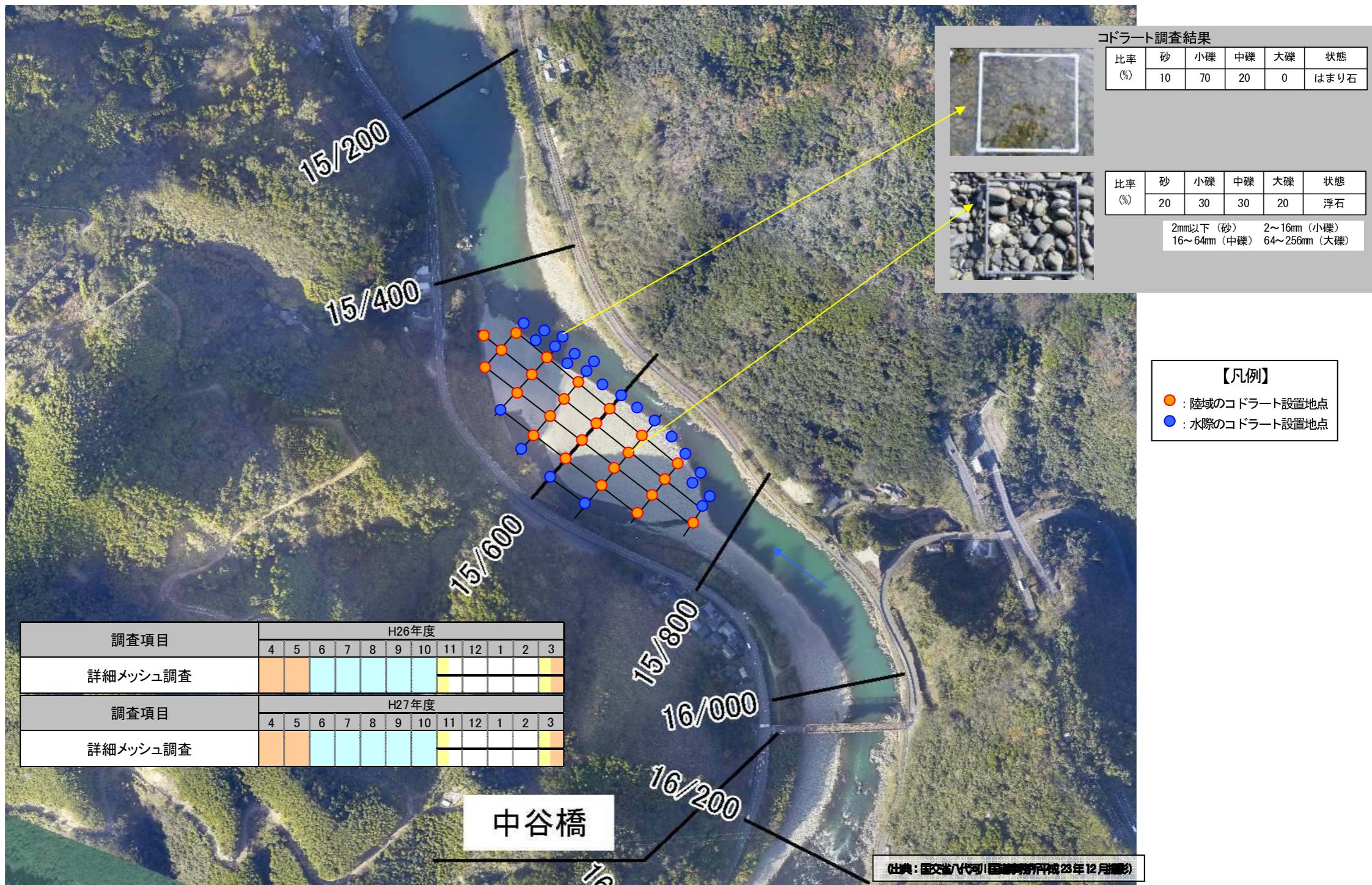
(3) 下代瀬 1) 通常の調査



(3) 下代瀬 2) 詳細メッシュ調査

コドラー調査（河川敷の陸域を25m(横断方向)×50m(縦断方向)にメッシュ分割し、その交点にコドラーを設置してコドラー内の粒径分類を行うもの）あるいは低高度のリモートセンシングにより、粒径のコンター図等を作成する。

また、水際の水中に25m(横断方向)程度間隔でコドラーを設置し、陸域同様のコドラー調査を実施する。



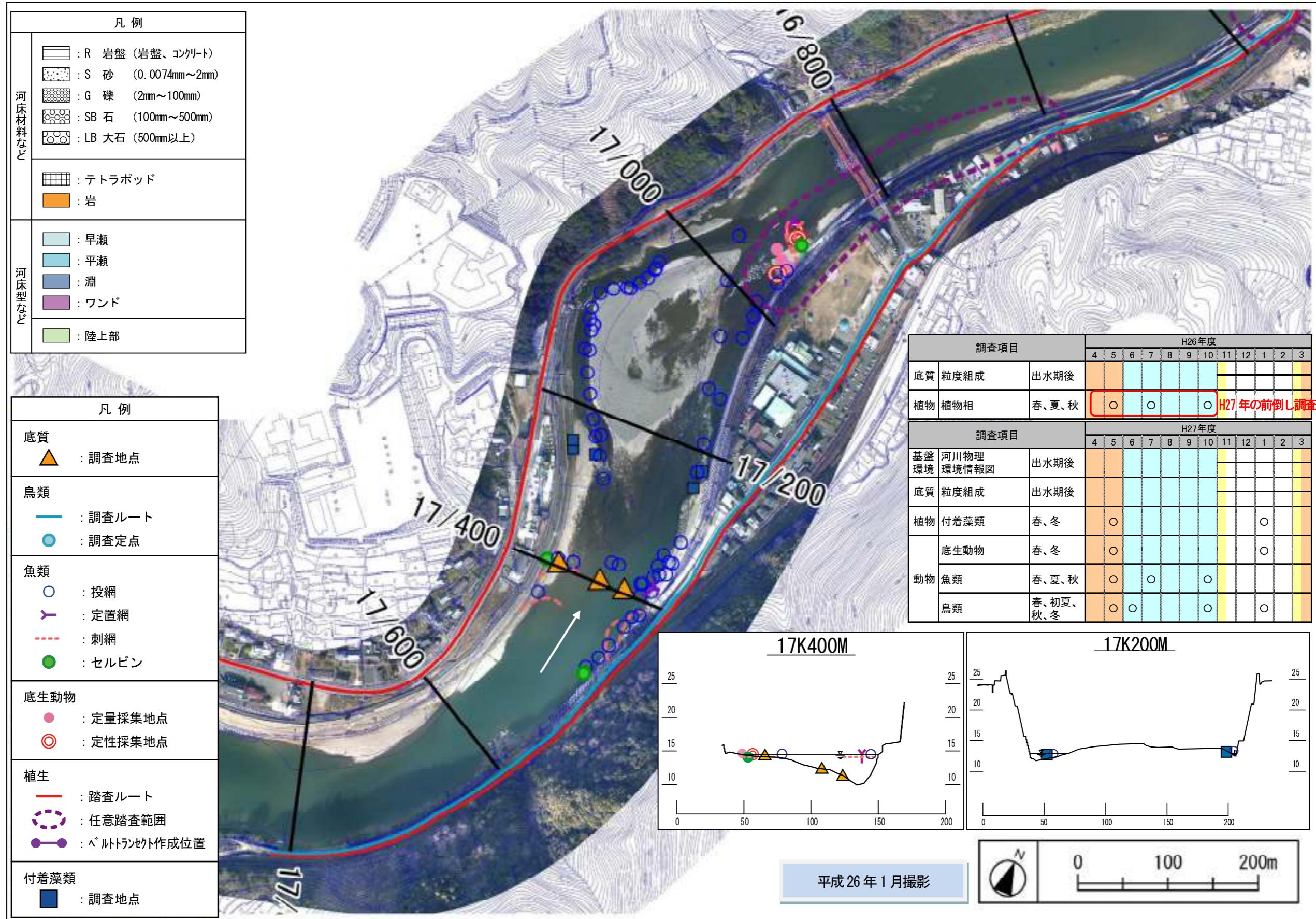
(3) 下代瀬 3) アユ採餌場産卵場環境調査



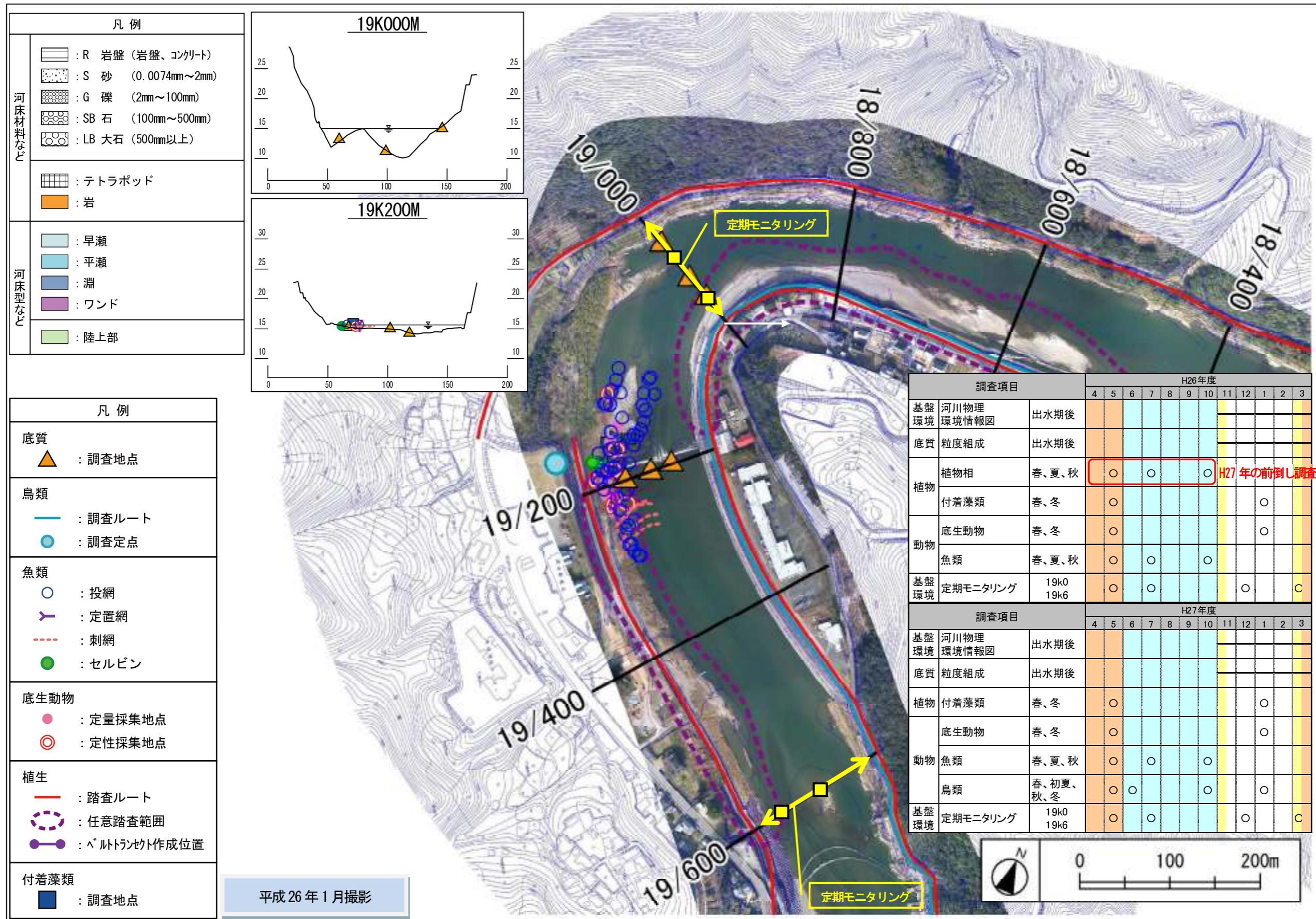
調査項目	H26年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
採餌場産卵場環境調査	●	●	○									

調査項目	H27年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
採餌場産卵場環境調査	●	●	○									

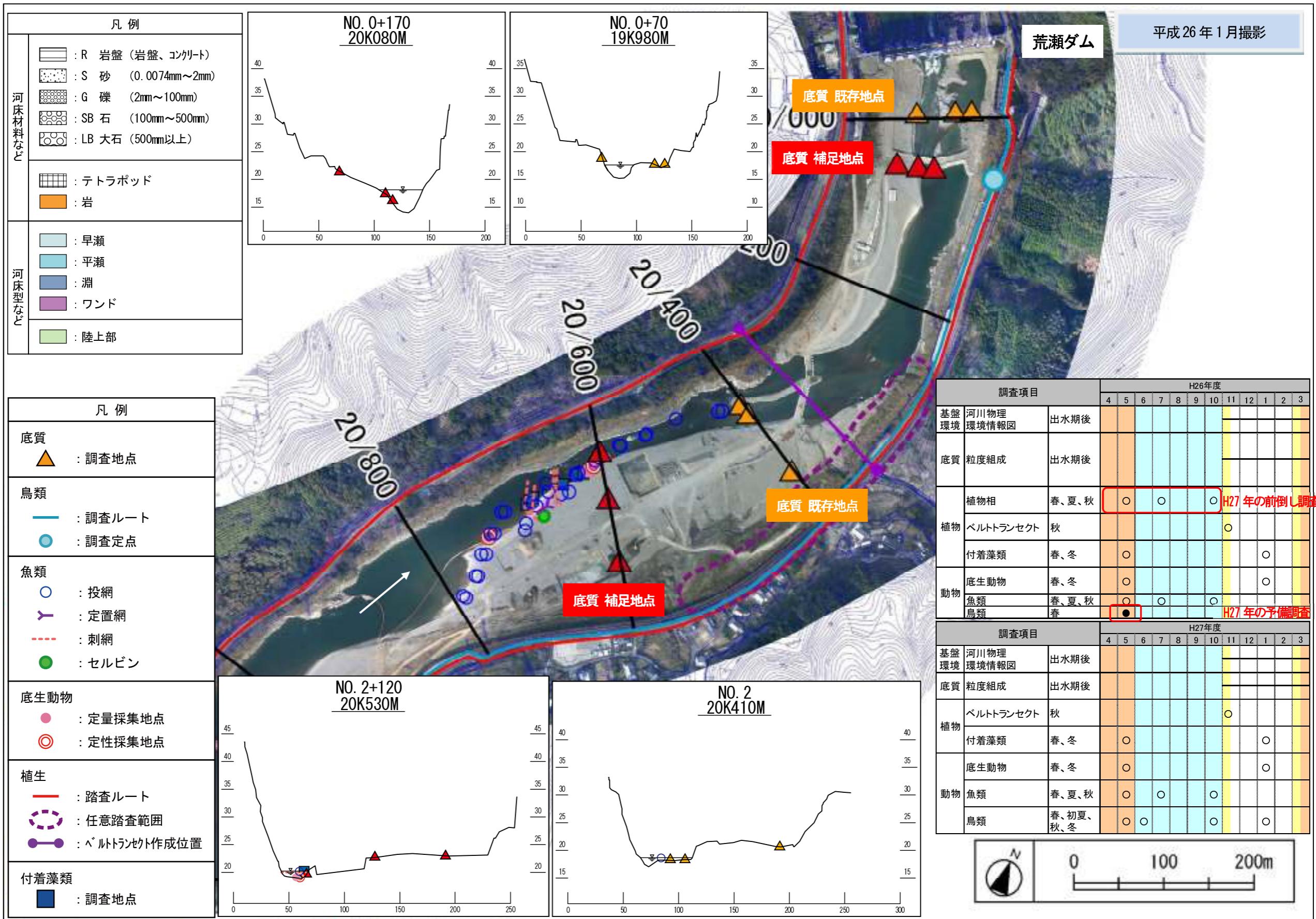
(4) 坂本橋



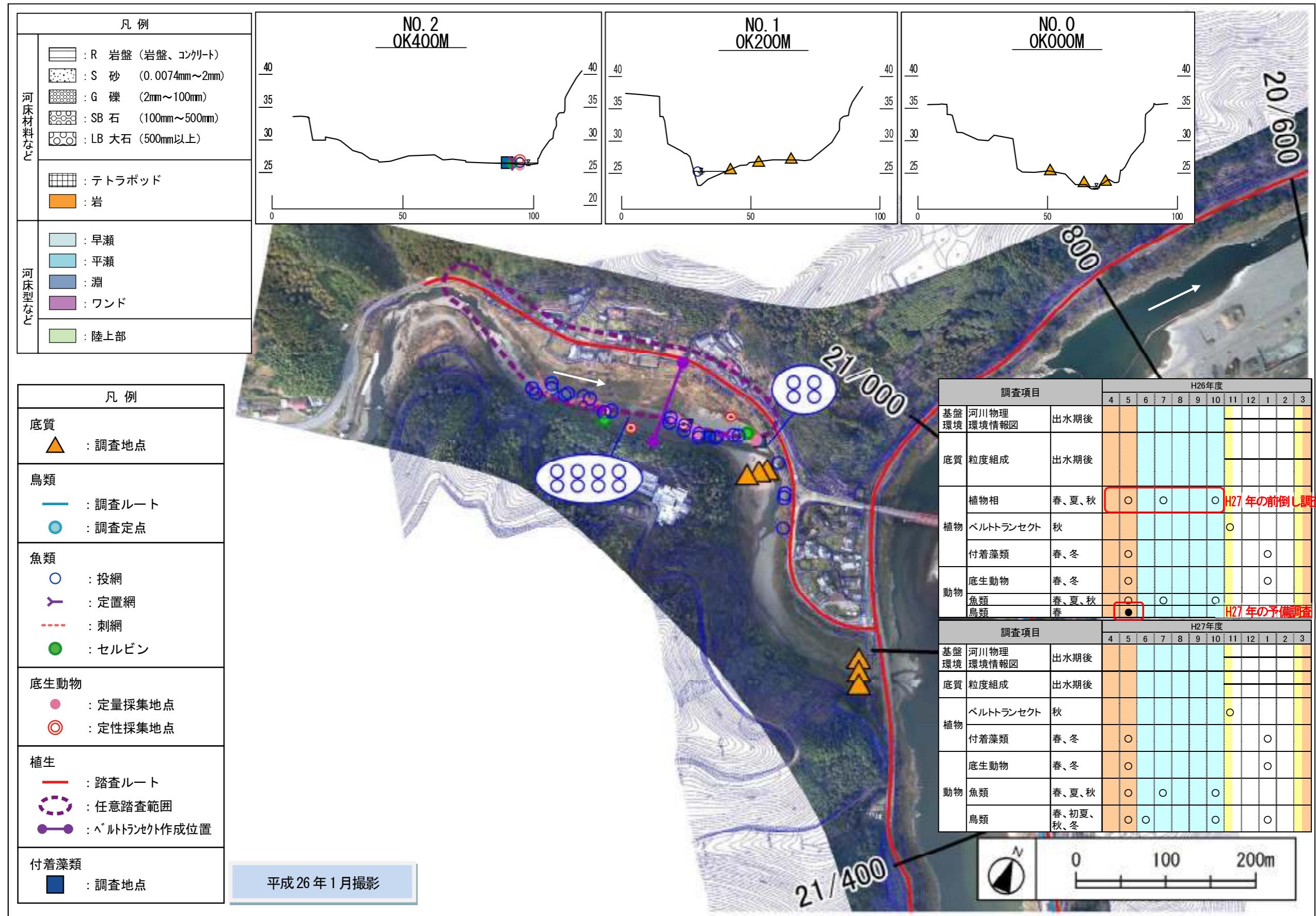
(5) 道の駅坂本



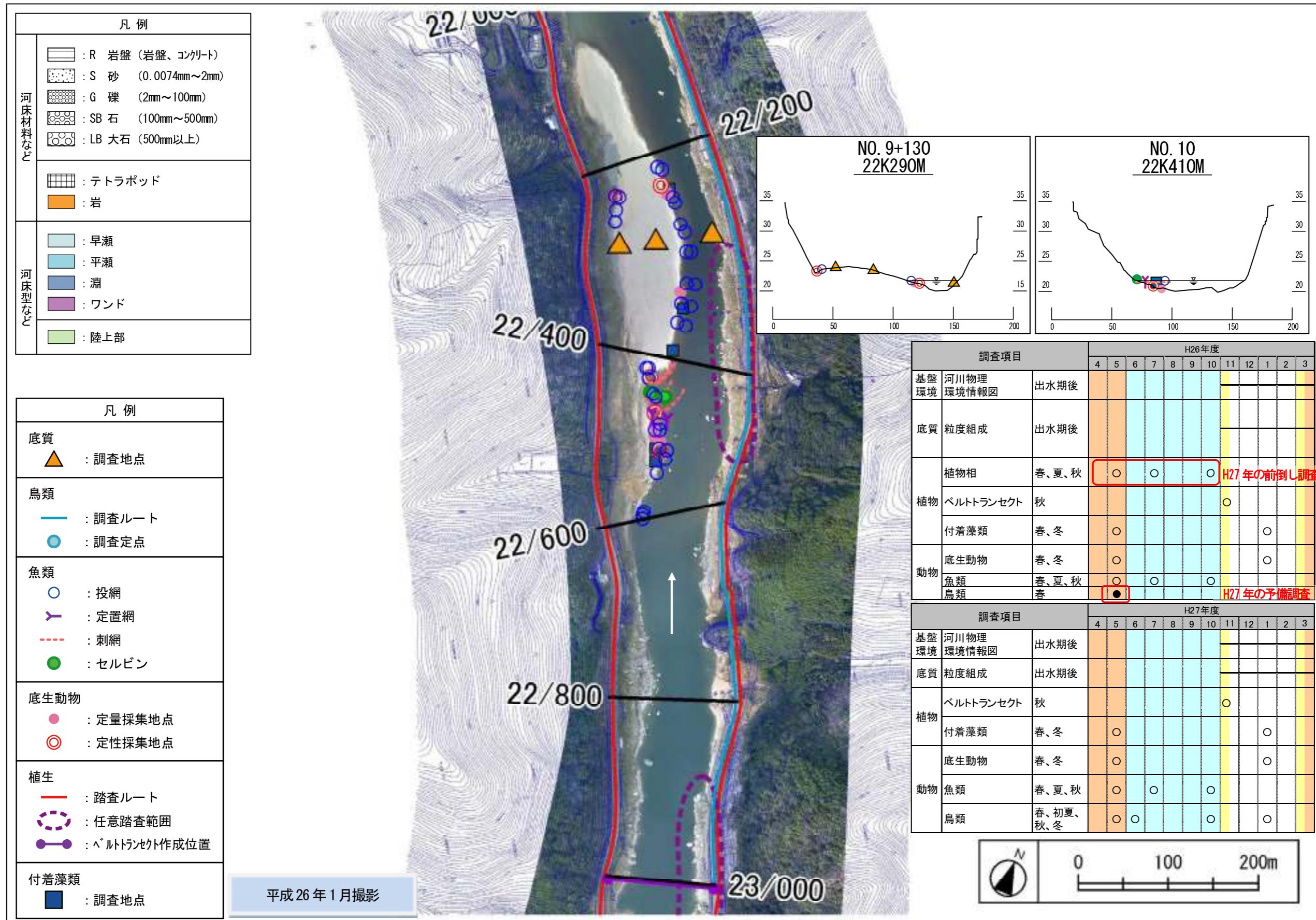
(6) 葉木



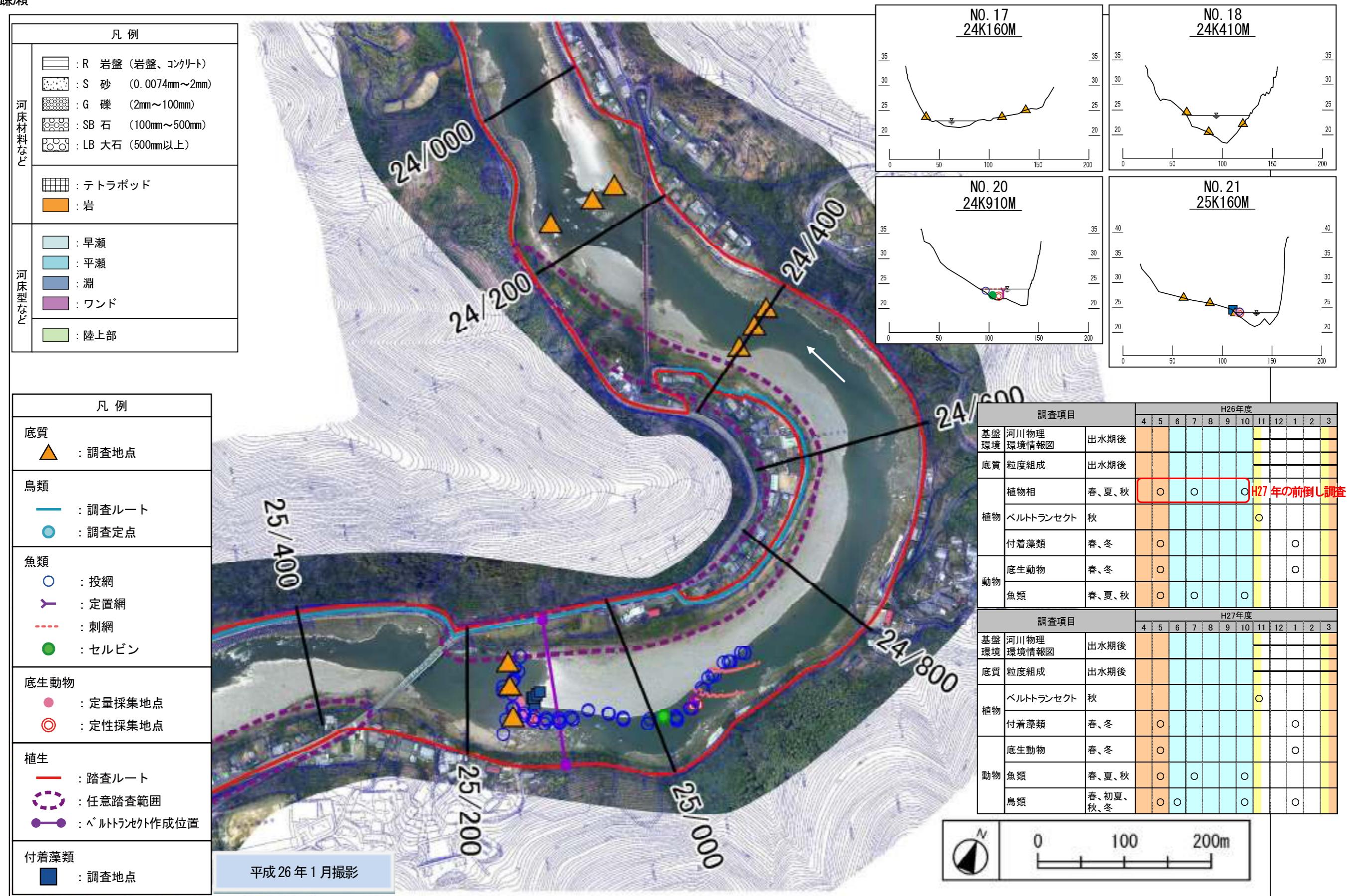
(7) 荒瀬ダム百濟木川流入部



(8) 与奈久



(9) 西鎌瀬



(10) 濱戸石ダム下流

